



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 アツギ株式会社
 コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 工藤 洋志
 (氏名) 古川 雅啓
 配当支払開始予定日

TEL 046-235-8107
 2020年6月29日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	19,621	△10.3	△461	—	△204	—	△5,933	—
2019年3月期	21,870	△8.7	△903	—	△726	—	△3,078	—

(注) 包括利益 2020年3月期 △7,775百万円 (—%) 2019年3月期 △4,413百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△370.10	—	△14.9	△0.4	△2.4
2019年3月期	△192.00	—	△6.6	△1.3	△4.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 △35百万円 2019年3月期 5百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	42,395	35,756	84.0	2,222.64
2019年3月期	50,778	44,015	86.4	2,737.41

(参考) 自己資本 2020年3月期 35,630百万円 2019年3月期 43,890百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,013	△158	△479	7,461
2019年3月期	324	△979	△494	7,238

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	481	—	1.0
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	240	—	0.6
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)2020年3月期の配当原資は、全額が資本剰余金であります。詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。
 2021年3月期の配当につきましては、現段階では未定とし、業績予想の開示が可能となった段階で、配当予想を速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染症拡大が業績に与える影響を現段階において合理的に算出することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	17,319,568 株	2019年3月期	17,319,568 株
② 期末自己株式数	2020年3月期	1,288,842 株	2019年3月期	1,286,017 株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	16,032,103 株	2019年3月期	16,034,768 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	18,782	△10.5	42	—	△1,100	—	△6,227	—
2019年3月期	20,977	△8.9	△1,013	—	△743	—	△3,440	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	△388.44	—
2019年3月期	△214.56	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	40,931	34,824	85.1	2,172.36
2019年3月期	49,584	42,992	86.7	2,681.44

(参考) 自己資本 2020年3月期 34,824百万円 2019年3月期 42,992百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2020年3月期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1株当たり配当金	15円	15円
配当金総額	240百万円	240百万円

(注) 純資産減少割合については現在計算中であり、確定次第、開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15
4. 個別財務諸表	16
(1) 貸借対照表	16
(2) 損益計算書	18
(3) 株主資本等変動計算書	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善を背景に、引き続き緩やかな回復基調で推移しましたが、その一方で、米中間の貿易摩擦の激化や、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界経済への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、酷暑や暖冬などの天候不順の影響や、消費増税後の消費マインドの低下などにより、実店舗における衣料品販売が総じて苦戦するなど、個人消費は引き続き力強さに欠ける状況が続いており、厳しい環境にあります。

このような状況において当社グループは、2018年度から2020年度までの3年間を実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2020』で掲げる「企画・開発と営業戦略の融合」、「繊維事業におけるバランスの改革」、「製造原価の低減」、「女性の美と快適に「健康」をプラス」、「生産性の向上」の5つの課題への取り組みに加え、これらを強化するための施策として、2019年度より「事業構造改革」、「業務構造改革」、「コスト構造改革」の3つの構造改革を推進することにより、次の時代を見据えた事業構造への転換を図り、強固な事業基盤の構築を目指しております。

当連結会計年度においては、衛星工場の閉鎖などの構造改革を実施いたしました。販売では主力商品群であるレッグウェア商品が年間を通じて苦戦するなど売上が計画を大きく下回った他、利益面では国内工場の生産性悪化による売上原価の上昇、販売の減少に伴う売上総利益の減少などにより、営業利益および経常利益が減少した結果、繊維事業における利益創出が困難となったことから、保有する固定資産の減損損失を特別損失に計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅な損失となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は19,621百万円（前年同期比10.3%減）、営業損失は461百万円（前年同期は903百万円の損失）、経常損失は204百万円（前年同期は726百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は5,933百万円（前年同期は3,078百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

[繊維事業]

レッグウェア分野は、プレーンストッキングなどのベーシック商品が期初より苦戦し、更には最盛期である秋冬期においてもタイツなどの季節商品が伸び悩みなど全般的に厳しく、同分野の売上高は15,050百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

インナーウェア分野は、スポーツインナー関連が順調に推移した他、主力のブラジャーおよびショーツも好調に推移し、同分野の売上高は3,359百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は18,409百万円（前年同期比10.9%減）、営業損失は690百万円（前年同期は1,370百万円の損失）となりました。

[不動産事業]

保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は571百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は308百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

[その他]

その他の事業につきましては、介護用品の販売は堅調に推移しましたが、太陽光発電による売電は天候の影響などにより発電量が減少いたしました。これらの結果、当事業の売上高は640百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は28百万円（前年同期比48.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は42,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,383百万円減少いたしました。主な増減内容は、繊維事業において、収益性の低下等により投資額の回収が見込めなくなった一部の生産拠点および物流センター等の事業用資産について減損処理を行ったこと等による有形固定資産の減少5,672百万円、投資有価証券の減少2,169百万円等によるものであります。

負債の部は6,639百万円となり、前連結会計年度末に比べ124百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債の減少104百万円等によるものであります。

純資産の部は35,756百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,258百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失5,933百万円の計上による減少や、前期決算に係る配当金481百万円による減少、土地再評価差額金の取崩による減少1,159百万円、その他の包括利益累計額の減少683百万円等によるものであります。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は、前連結会計年度末の86.4%から84.0%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失5,495百万円の計上はありましたが、減損損失5,287百万円、減価償却費721百万円、売上債権の減少727百万円等により、差引1,013百万円の収入となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得374百万円、投資有価証券の償還224百万円等により、158百万円の支出となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払い477百万円等により、479百万円の支出となりました。

この結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ223百万円増加し、7,461百万円となりました。

(4) 今後の見通し

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染症拡大が業績に与える影響を現段階において合理的に算出することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

当社グループを取り巻く流通・アパレル業界においても、消費の低迷により更なる企業の淘汰・再編、価格競争の激化などが予想され、厳しい状況が続くものと思われまます。

このような経営環境のもと、当社グループは、現在、2020年度までの3年間を実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2020』に鋭意取り組み、更に、2019年度より、これらを確実に遂行するため「事業構造改革」、「業務構造改革」、「コスト構造改革」の3つの構造改革をスタートし、衛星工場の閉鎖などの施策を断行いたしました。主力のストックングやタイトの不振などにより販売が計画を大きく下回り、これに加えて、国内工場の収支悪化に伴い、繊維事業に係る固定資産の減損損失の計上を余儀なくされ、2期連続の大幅な最終損失という結果となりました。

目下、当社グループが直面している大きな課題は、継続する売上高の減少と国内工場の収支悪化であり、一刻も早くこの状況に歯止めをかけるため「事業構造改革」、「業務構造改革」、「コスト構造改革」の3つの構造改革をスピーディに推し進めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,980	8,120
受取手形及び売掛金	3,952	3,198
商品及び製品	4,745	5,001
仕掛品	1,501	1,421
原材料及び貯蔵品	447	491
その他	493	495
貸倒引当金	△122	△113
流動資産合計	18,998	18,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,619	14,818
減価償却累計額	△12,939	△13,091
建物及び構築物（純額）	4,680	1,726
機械装置及び運搬具	14,817	13,845
減価償却累計額	△11,957	△11,962
機械装置及び運搬具（純額）	2,860	1,882
土地	14,926	13,098
建設仮勘定	27	209
その他	861	750
減価償却累計額	△722	△706
その他（純額）	139	43
有形固定資産合計	22,633	16,960
無形固定資産		
土地使用権	187	163
ソフトウェア	54	3
その他	0	0
無形固定資産合計	241	167
投資その他の資産		
投資有価証券	8,617	6,448
繰延税金資産	31	12
その他	258	193
貸倒引当金	△2	△3
投資その他の資産合計	8,905	6,652
固定資産合計	31,780	23,780
資産合計	50,778	42,395

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,062	1,981
未払法人税等	132	133
賞与引当金	114	102
その他	697	840
流動負債合計	3,006	3,057
固定負債		
繰延税金負債	522	594
再評価に係る繰延税金負債	1,656	1,479
退職給付に係る負債	1,290	1,221
その他	287	285
固定負債合計	3,756	3,581
負債合計	6,763	6,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金	9,345	9,345
利益剰余金	2,064	△5,509
自己株式	△1,460	△1,462
株主資本合計	41,655	34,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,293	751
繰延ヘッジ損益	58	142
土地再評価差額金	△781	377
為替換算調整勘定	665	280
その他の包括利益累計額合計	2,234	1,551
非支配株主持分	124	125
純資産合計	44,015	35,756
負債純資産合計	50,778	42,395

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	21,870	19,621
売上原価	15,898	13,613
売上総利益	5,971	6,007
販売費及び一般管理費	6,875	6,468
営業損失(△)	△903	△461
営業外収益		
受取利息	23	28
受取配当金	212	209
持分法による投資利益	5	—
その他	52	93
営業外収益合計	293	332
営業外費用		
持分法による投資損失	—	35
支払手数料	9	10
為替差損	45	8
租税公課	29	4
貸倒損失	16	—
その他	14	16
営業外費用合計	115	75
経常損失(△)	△726	△204
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	144	—
特別利益合計	145	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	103	2
減損損失	2,475	5,287
貸倒引当金繰入額	54	—
特別損失合計	2,633	5,290
税金等調整前当期純損失(△)	△3,214	△5,495
法人税、住民税及び事業税	126	110
法人税等調整額	△275	316
法人税等合計	△148	426
当期純損失(△)	△3,066	△5,921
非支配株主に帰属する当期純利益	12	11
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△3,078	△5,933

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純損失(△)	△3,066	△5,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,605	△1,541
繰延ヘッジ損益	382	83
為替換算調整勘定	△122	△389
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△6
その他の包括利益合計	△1,347	△1,853
包括利益	△4,413	△7,775
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△4,422	△7,776
非支配株主に係る包括利益	8	1

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	31,706	9,345	5,250	△1,457	44,844
当期変動額					
剰余金の配当			△481		△481
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△3,078		△3,078
自己株式の取得				△3	△3
土地再評価差額金の取崩			375		375
その他			△1		△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△3,185	△3	△3,188
当期末残高	31,706	9,345	2,064	△1,460	41,655

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,898	△324	△406	786	3,954	128	48,926
当期変動額							
剰余金の配当							△481
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△3,078
自己株式の取得							△3
土地再評価差額金の取崩							375
その他							△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,605	382	△375	△120	△1,719	△3	△1,722
当期変動額合計	△1,605	382	△375	△120	△1,719	△3	△4,911
当期末残高	2,293	58	△781	665	2,234	124	44,015

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	31,706	9,345	2,064	△1,460	41,655
当期変動額					
剰余金の配当			△481		△481
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△5,933		△5,933
自己株式の取得				△2	△2
土地再評価差額金の取崩			△1,159		△1,159
その他			△0		△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	△7,573	△2	△7,576
当期末残高	31,706	9,345	△5,509	△1,462	34,079

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,293	58	△781	665	2,234	124	44,015
当期変動額							
剰余金の配当							△481
親会社株主に帰属する当期純損失（△）							△5,933
自己株式の取得							△2
土地再評価差額金の取崩							△1,159
その他							△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,541	83	1,159	△385	△683	1	△682
当期変動額合計	△1,541	83	1,159	△385	△683	1	△8,258
当期末残高	751	142	377	280	1,551	125	35,756

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△3,214	△5,495
減価償却費	979	721
減損損失	2,475	5,287
のれん償却額	24	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	113	△9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△53	△68
受取利息及び受取配当金	△235	△238
持分法による投資損益 (△は益)	△5	35
投資有価証券売却損益 (△は益)	△144	—
有形固定資産除却損	103	2
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	553	727
たな卸資産の増減額 (△は増加)	335	△294
仕入債務の増減額 (△は減少)	△537	△45
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△86	102
その他	△32	264
小計	266	976
利息及び配当金の受取額	235	238
法人税等の支払額	△270	△201
法人税等の還付額	92	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	324	1,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△742	△658
定期預金の払戻による収入	659	688
有形固定資産の取得による支出	△914	△374
有形固定資産の売却による収入	18	0
無形固定資産の取得による支出	△13	△3
投資有価証券の取得による支出	△262	△35
投資有価証券の償還による収入	—	224
投資有価証券の売却による収入	327	—
貸付けによる支出	△52	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△979	△158
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△479	△477
非支配株主への配当金の支払額	△11	—
自己株式の取得による支出	△3	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△494	△479
現金及び現金同等物に係る換算差額	△54	△152
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,203	223
現金及び現金同等物の期首残高	8,442	7,238
現金及び現金同等物の期末残高	7,238	7,461

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、レグウェアの製造販売を主要な事業として展開しており、「繊維事業」「不動産事業」を報告セグメントとしております。

「繊維事業」は、主にレグウェア、インナーウェアの製造及び販売を行っております。「不動産事業」は、分譲土地の購入及び販売、土地及び建物の賃貸事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は損失ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,666	583	21,250	620	21,870	—	21,870
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	—	3	0	3	△3	—
計	20,669	583	21,253	620	21,874	△3	21,870
セグメント利益又は損失(△)	△1,370	410	△960	56	△903	—	△903
セグメント資産	33,382	8,997	42,380	1,566	43,947	6,831	50,778
その他の項目							
減価償却費(注) 4	820	72	892	87	979	—	979
のれんの償却費	24	—	24	—	24	—	24
持分法適用会社への投資額	86	—	86	—	86	—	86
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	637	47	684	0	685	—	685

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,409	571	18,980	640	19,621	—	19,621
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	—	4	0	4	△4	—
計	18,413	571	18,984	640	19,625	△4	19,621
セグメント利益又は損失(△)	△690	308	△382	28	△353	△107	△461
セグメント資産	27,213	7,990	35,203	1,553	36,756	5,638	42,395
その他の項目							
減価償却費(注) 4	550	63	614	76	691	30	721
のれんの償却費	—	—	—	—	—	—	—
持分法適用会社への投資額	45	—	45	—	45	—	45
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	185	53	238	200	439	—	439

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり介護用品の仕入、販売および太陽光発電による売電であります。

2. 調整額の内容は、以下のとおりです。

セグメント利益又は損失

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社費用	—	△107
合計	—	△107

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない、本社等の土地・建物（転用を検討中の土地・建物を含む）に係る費用であります。

セグメント資産

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産	6,831	5,638
合計	6,831	5,638

※ 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない、本社等の土地・建物（転用を検討中の土地・建物を含む）および長期投資資金(投資有価証券)であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

4. 減価償却費には、長期前払費用に係る償却額が含まれております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	繊維事業	不動産事業	計			
減損損失	2,475	—	2,475	—	—	2,475

（注） 当社は、今後、グループ全体の構造改革に取り組み、繊維事業に帰属していた本社および物流センターを移管・集約し、最適な配置をすることを計画していることから、当該土地・建物等について減損処理を行っております。また、繊維事業における一部生産拠点の統合・閉鎖の決定に伴う土地・建物等の減損処理に加え、国内生産工場全体において今後使用見込みがなくなった余剰生産設備等の減損処理を行っております。これらの結果、繊維事業において2,475百万円の減損損失が発生しております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	繊維事業	不動産事業	計			
減損損失	5,185	—	5,185	—	101	5,287

（注） 繊維事業において、収益性の低下等により投資額の回収が見込めなくなった一部の生産拠点および物流センター等の事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減損処理しております。また、報告セグメントに帰属しない全社資産において、一部資産の市場価格が下落したことから、帳簿価額を回収可能価額まで減損処理しております。これらの結果、繊維事業において5,185百万円および報告セグメントに帰属しない全社資産において101百万円の減損損失を計上しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産	2,737.41円	2,222.64円
1株当たり当期純損失(△)	△192.00円	△370.10円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	(百万円)	△3,078	△5,933
普通株主に帰属しない金額	(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	(百万円)	△3,078	△5,933
普通株式の期中平均株式数	(千株)	16,034	16,032

3. 1株当たり純資産の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目		前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額	(百万円)	44,015	35,756
純資産の部の合計額から控除する金額			
(うち非支配株主持分)	(百万円)	(124)	(125)
普通株式に係る期末の純資産	(百万円)	43,890	35,630
1株当たり純資産の算定に用いられた 期末の普通株式の数	(千株)	16,033	16,030

(重要な後発事象)

当社は、2020年5月15日開催の取締役会において、資本金の額の減少及び剰余金の処分並びに2020年3月31日を基準日とする剰余金の配当について、2020年6月26日開催予定の第94回定時株主総会に付議することを決議いたしました。

1. 資本金の額の減少、剰余金の処分の目的

繰越利益剰余金の欠損を填補するとともに、株主の皆様への配当原資を確保し、今後の資本政策の柔軟性および機動性を確保することを目的としております。

2. 資本金の額の減少の内容

会社法第447条1項の規定に基づき、資本金の額の減少を行い、その他資本剰余金に振り替えるものであります。

(1) 減少する資本金の額

資本金の額31,706,039,503円のうち11,706,039,503円を減少して、減少後の資本金の額を20,000,000,000円といたします。

(2) 資本金の額の減少の方法

資本金の額を減少し、その減少額全額をその他資本剰余金に振り替えるものです。これにより、その他資本剰余金の額は14,706,039,503円となります。

3. 剰余金の処分の内容

繰越利益剰余金は4,662,938,388円の欠損が生じておりますので、資本金の額の減少の効力発生を条件に、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金14,706,039,503円のうち4,662,938,388円を繰越利益剰余金に振り替えて繰越欠損を解消するとともに、その他資本剰余金のうち240,460,890円を使用して期末配当を実施するものであります。

(1) 剰余金の処分に関する事項

①減少する剰余金の項目およびその額

その他資本剰余金 4,662,938,388円

②増加する剰余金の項目およびその額

繰越利益剰余金 4,662,938,388円

(2) 期末配当に関する事項

①配当財産の種類

金銭といたします。

②配当財産の割当てに関する事項およびその額

当社普通株式1株当たり金15円といたします。この場合の配当総額は240,460,890円となります。

4. 資本金の額の減少に関する日程

- | | |
|--------------------|-----------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2020年5月15日 |
| (2) 債権者異議申述公告日 | 2020年5月21日 (予定) |
| (3) 債権者異議申述最終期日 | 2020年6月22日 (予定) |
| (4) 株主総会決議日 | 2020年6月26日 (予定) |
| (5) 資本金の額の減少の効力発生日 | 2020年6月26日 (予定) |
| (6) 剰余金の配当の効力発生日 | 2020年6月29日 (予定) |

※詳細につきましては、本日別途公開している「資本金の額の減少ならびに剰余金の処分および剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,477	5,030
受取手形	71	52
売掛金	3,787	3,008
商品及び製品	4,493	4,670
原材料及び貯蔵品	24	20
前払費用	78	70
その他	991	965
貸倒引当金	△12	△5
流動資産合計	13,911	13,811
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,376	988
構築物	171	3
機械及び装置	682	561
車両運搬具	0	0
土地	15,020	13,192
建設仮勘定	27	0
その他	60	0
有形固定資産合計	19,338	14,747
無形固定資産		
ソフトウェア	46	0
その他	0	0
無形固定資産合計	46	0
投資その他の資産		
投資有価証券	8,617	6,448
関係会社株式	425	341
関係会社出資金	4,481	4,259
関係会社長期貸付金	2,624	2,619
破産更生債権等	2	3
長期前払費用	26	11
その他	110	120
貸倒引当金	△2	△1,433
投資その他の資産合計	16,286	12,370
固定資産合計	35,672	27,119
資産合計	49,584	40,931

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	318	294
買掛金	1,990	1,623
未払金	217	251
未払費用	96	71
未払法人税等	108	122
前受金	52	74
預り金	15	16
賞与引当金	78	67
債務保証損失引当金	54	48
その他	—	87
流動負債合計	2,933	2,658
固定負債		
繰延税金負債	457	492
再評価に係る繰延税金負債	1,669	1,492
退職給付引当金	1,244	1,178
その他	286	284
固定負債合計	3,657	3,448
負債合計	6,591	6,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金		
資本準備金	7,927	4,927
その他資本剰余金	—	3,000
資本剰余金合計	7,927	7,927
利益剰余金		
利益準備金	—	48
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	41	36
繰越利益剰余金	3,248	△4,662
利益剰余金合計	3,289	△4,578
自己株式	△1,515	△1,517
株主資本合計	41,407	33,537
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,278	737
繰延ヘッジ損益	58	142
土地再評価差額金	△751	407
評価・換算差額等合計	1,585	1,287
純資産合計	42,992	34,824
負債純資産合計	49,584	40,931

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	20,977	18,782
売上原価	16,114	13,083
売上総利益	4,862	5,698
販売費及び一般管理費	5,876	5,656
営業利益又は営業損失(△)	△1,013	42
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	287	256
受取賃貸料	216	165
その他	27	37
営業外収益合計	531	459
営業外費用		
固定資産賃貸費用	156	117
支払手数料	9	10
為替差損	37	30
租税公課	29	4
貸倒引当金繰入額	—	1,430
その他	27	9
営業外費用合計	260	1,602
経常損失(△)	△743	△1,100
特別利益		
投資有価証券売却益	144	—
特別利益合計	144	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	99	0
減損損失	2,337	4,545
関係会社株式評価損	653	83
関係会社出資金評価損	—	222
債務保証損失引当金繰入額	54	—
特別損失合計	3,144	4,850
税引前当期純損失(△)	△3,743	△5,950
法人税、住民税及び事業税	18	16
法人税等調整額	△321	260
法人税等合計	△302	276
当期純損失(△)	△3,440	△6,227

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	31,706	7,927	—	7,927	—	47	6,788	6,835
当期変動額								
剰余金の配当							△481	△481
利益準備金の積立								
準備金から剰余金への振替								
固定資産圧縮積立金の取崩						△5	5	—
当期純損失(△)							△3,440	△3,440
自己株式の取得								
土地再評価差額金の取崩							375	375
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△5	△3,540	△3,545
当期末残高	31,706	7,927	—	7,927	—	41	3,248	3,289

(単位：百万円)

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	其他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,512	44,956	3,884	△324	△376	3,183	48,140
当期変動額							
剰余金の配当		△481					△481
利益準備金の積立							—
準備金から剰余金への振替							—
固定資産圧縮積立金の取崩		—					—
当期純損失(△)		△3,440					△3,440
自己株式の取得	△3	△3					△3
土地再評価差額金の取崩		375					375
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△1,605	382	△375	△1,598	△1,598
当期変動額合計	△3	△3,548	△1,605	382	△375	△1,598	△5,147
当期末残高	△1,515	41,407	2,278	58	△751	1,585	42,992

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	31,706	7,927	—	7,927	—	41	3,248	3,289
当期変動額								
剰余金の配当							△481	△481
利益準備金の積立					48		△48	—
準備金から剰余金への振替		△3,000	3,000	—				
固定資産圧縮積立金の取崩						△4	4	—
当期純損失（△）							△6,227	△6,227
自己株式の取得								
土地再評価差額金の取崩							△1,159	△1,159
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	△3,000	3,000	—	48	△4	△7,911	△7,867
当期末残高	31,706	4,927	3,000	7,927	48	36	△4,662	△4,578

(単位：百万円)

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,515	41,407	2,278	58	△751	1,585	42,992
当期変動額							
剰余金の配当		△481					△481
利益準備金の積立		—					—
準備金から剰余金への振替		—					—
固定資産圧縮積立金の取崩		—					—
当期純損失（△）		△6,227					△6,227
自己株式の取得	△2	△2					△2
土地再評価差額金の取崩		△1,159					△1,159
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			△1,541	83	1,159	△298	△298
当期変動額合計	△2	△7,870	△1,541	83	1,159	△298	△8,168
当期末残高	△1,517	33,537	737	142	407	1,287	34,824